

新エネルギー発電設備事故対応・構造強度 ワーキンググループ（第27回）－議事要旨

日時：令和3年5月28日（金）15：00～17：00

場所：Skype開催

出席者：

<委員>

前田座長、青木委員、石原委員、植田委員、奥田委員、貝塚委員、河井委員、熊田委員、西尾委員、弘津委員、山本委員（五十音順）

<オブザーバー>

伊賀川 一般社団法人住宅生産団体連合会 調査部長
久保 一般社団法人日本小形風力発電協会 理事長
柴田 一般社団法人日本風力発電協会 技術部長
鈴木 一般社団法人太陽光発電協会 事務局長

議題：

- （1）ユーラス西目ウインドファームの風車火災事故に関する報告について（継続）
- （2）JRE 酒田風力発電所の風車火災事故に関する報告について（新規）
- （3）輪島コミュニティウインドファームのブレード破損事故に関する報告について（新規）
- （4）東伯風力発電所事故に関する対応について（報告）

議事概要：

- （1）ユーラス西目ウインドファームの風車火災事故に関する報告について
 - 株式会社ユーラステクニカルサービスより、資料1に基づき前回(3月3日)の指摘事項に対する回答、事故の原因及び再発防止対策について報告が行われた。
 - 具体的には、劣化等によるDCリンクキャパシタの破損によりアークが発生して発火したことが今回の原因であると推定された。火災に対する再発防止対策としては、DCリンクキャパシタの経年劣化の確認強化、制御盤内の自動消火設備の導入、ナセル内側へ不燃シートの設置を行うこととした。また、警報不作動の再発防止対策としては、SCADAサーバーに風車との通信不能を検知し発報する機能を追加するとともに、通信不能エラーを受信後は、必ず迅速に風車の状況を確認する運用体制を構築することとした。
 - これらについて、委員から了承が得られ、本件については本報告をもって、審議を終了した。

(2) JRE 酒田風力発電所の風車火災事故に関する報告について

- 合同会社 JRE 酒田風力より、資料 2 に基づき事故当日の運転状況、保守履歴、被害状況、事故の原因及び再発防止対策について報告が行われた。
- 委員からは、過去に同様の事故が起こっていないか、どのような経路で地絡又は短絡をしたかを風車メーカー本社へ確認すること、再発防止対策を低電圧部の絶縁抵抗測定としたことについて風車メーカーの見解を確認すること、温度センサーの値が通信トラブルにより事故後確認できなかったことについて対策を検討する必要性があること等が指摘され、次回 WG で引き続き審議を行うこととなった。

(3) 輪島コミュニティウインドファームのブレード破損事故に関する報告について

- 能登コミュニティウインドパワー株式会社より、資料 3 に基づき事故当日の運転状況、保守履歴、被害状況、事故の原因、再発防止対策について報告が行われた。
- 委員からは、定期検査のデータを使用すれば、ブレードのどこへ落雷しやすいかを分析できること、今回の再発防止対策で同様の事故を防げる理由、一般社団法人日本風力発電協会（以下「JWPA」という。）の「風力発電設備 ブレード点検および補修ガイドライン JWPA G0001-2020」（以下「ガイドライン」という。）と整合しているか、ブレードのカメラを用いた内部点検の検討等について指摘され、次回 WG で引き続き審議を行うこととなった。

(4) 東伯風力発電所事故に関する対応について（報告）

- 事務局より、資料 4 に基づき東伯風力発電所事故を受けた立入検査の実施状況、及び令和 3 年 4 月 14 日付けで、JWPA が作成したガイドラインを「発電用風力設備の技術基準の解釈」及び「電気事業法施行規則第 94 条の 3 第 1 項第 1 号及び第 2 号に定める定期事業者検査の方法の解釈」に参考として追記し、施行した旨、報告を行った。

次回ワーキンググループは改めて調整させていただく旨を連絡し、閉会。

問い合わせ先：

経済産業省産業保安グループ電力安全課

電話 : 03-3501-1742

FAX : 03-3580-8486